

旭民報

2012年
7月5日
=再刊=
第539号

=連絡先=

発行 日本共産党尾張旭市委員会
0561-527-5894 FAX 51-4011
川村つよし 090-2927-3776
さかきばやし利宏 090-22266-7284

7月2日、6月議会本会議（最終日）が開かれ市提出の議案など6件が全員の賛成により可決。

陳情6件のうち3件が採択されました。陳情における各議員の賛否は裏面の通りです。6月議会の話題をまとめました。

「財政再建」は 日本全体の問題

6月19日、川村議員は議会質問で市財政状況について質問。

水野市長が所信表明や市長選挙時に「財政再建」という表現を使っていたが果たして「再建」という表現が尾張旭市の財政状況にふさわしい表現なのか？

これには市長自らが「本市の財政状況は従来同様、特にご心配いただく状況にない」と認識しているが、他の自治体と比べればという前提がつく。日本全体の問題と捉えて、あえて財政再建という表現をした」と答弁し

ました。

市議選や市長選で候補者が「財政再建」と言えば、市の財政に不安があるのでは？と思う人が居るのでは？と思う人が居るのでは？と誤解を生まないように、発言に注意しなければなりません。

「慰安婦」問題の 陳情が可否同数

日本軍「慰安婦」問題の署名を集める会が6月議会に提出した陳情書は、7月2日の本会議で可否同数。議長裁決で不採択となりました。

賛成討論に大島議員、続いて反対討論に山下議員、賛成討論に川村議員、反対討論に武田議員、同

松本氏の順で討論がありました。

討論の順序は反対討論を先に行うのが通例ですが、山下議員は賛成討論に批判を加えたかったのか？討論通告を行わず議会ルールを無視した上で、大島議員の討論に対し「論拠が少なく情緒的なことが多かった」と批判。

（大島討論はそのような批判に当たらない内容でした。）情緒的などと言いたいがためのルール無視に見えます。

山下議員の討論を受けて急遽、賛成討論に立った川村議員は、山下議員が、論拠が少ないとした事に関して、中曽根元首相が慰安所の設置に関与していたという新たな資料が出てきていることを紹介しました。



TPP参加反対の 意見書が可決 骨抜きはかる民主党

農協から提出された「TPP交渉参加反対に関する意見書の提出を求めめる陳情書」が、賛成多数で採択されました。

裏面の表を見ていただくとわかりますが、陳情のタイトルには、はつきりと「TPP交渉参加反対」（表1番上）とあるものが、意見書では「環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への対応に関する意見書」（表下から2番目）となり、態度が不鮮明になっています。

これは6月27日に開かれた各派代表者会で、意見書の文案整理を行った際、民主党篠田議員が、長久手市で採択された意見書を持ち込み「交渉参加反対」の文言を取り除くよう求めたからです。

篠田議員は原案本文にある「TPPへの交渉参加は行わないこと」も長久手同様に変更を求めま

したが「それでは願意を歪めることになる」などと武田議員（保守系）より批判され、本文の表現は守られました。

長久手市がどのような整理で、意見書案を変更したかは不明ですが、篠田議員のような態度は

「TPP反対」の意見を骨抜きにした上で、地域で農協関係者と顔を合わせれば「陳情に賛成したような顔」ができる、陳情者を愚弄するものではないでしょうか？

こどもの医療費 無料制度を守る

川村議員の提案みのる

意見書第2号「愛知県福祉医療制度の充実を求める意見書」が全員の賛成で可決しました。川村議員が各会派を回り意見書提出を呼びかけたものです。

尾張旭市のこども医療費無料制度は、中学卒業まで窓口負担が無料になっています。愛知県の補助

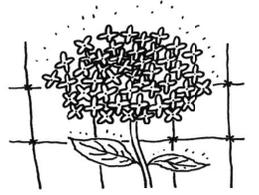


制度に上積みして制度が維持されています。

県はこの補助を見直す計画を検討中で、もし補助金が削減されれば、制度維持のために市の支出を大きく増やさなければならなくなります。

6月議会では、県の動きを捉え、こども医療費の無料制度存続を望む立場から、新市長に対し質問する会派が複数ありました。状況から意見書提出の可能性があると考え働きかけたところ合意が得られたものです。

県補助削減の影響は、こども、ひとり親、障がい者、高齢者と広範囲に渡ります。市議会で力を合わせ県を改めさせたいことがらです。



6月議会 賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度

議案などの名称	党派	政新あさひ					市民まちづくり ネット			公明党			フロンティア 旭		みんなの ありが党		減税尾張旭				
	議員名	川村つよし	相羽晴光	秋田進	伊藤憲男	岩橋盛文	みとべ茂樹	大島もえ	篠田一彦	早川八郎	牧野一吉	伊藤恵理子	片淵卓三	丸山幸子	武田なおき	森和実	若杉たかし	花井守行	山下幹雄	松本和夫	
陳情第2号 TPP交渉参加反対に関する 意見書の提出を求める陳情書						-												×	×		
陳情第5号 すべての高齢者に月3.3万円の年金支給 年金受給資格期間短縮するよう国への意見書提出を求める		×	×	×	-	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	
陳情第6号の1 最低賃金の引き上げ公契約条例 の制定など... (公共サービス・憲法関連)		×	×	×	-	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	
陳情第6号の2 最低賃金の引き上げ公契約条例 の制定など... (教育関連)		×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	
陳情第6号の3 最低賃金の引き上げ公契約条例 の制定など... (産業・労働・エネルギー関連)		×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	×	
陳情第7号 日本軍「慰安婦」問題に対して 政府に誠実な対応を求める陳情		×	×	×	×	×									×	×			×	×	
意見書案第3号 環太平洋戦略的経済連携協定 (TPP)への対応に関する意見書						-													×	×	
意見書案第4号 公的年金支給額削減に 反対する意見書						-															×

○：賛成 ×：反対
議長は
採決に加わりません。

態度一転
「学校給食・食材の放射
線数値公表します」

前回、市給食センター
に導入する放射線測定
器について、計測した
数値を、市が100 Bq
未滿は公表しない。と
していた問題で、
市は、計測された数
値を公表する意向を川
村議員に口頭で伝えま
した。旭民報で報道直
後の週末（6月17日）
のことです。大島議員
も議会質問し答弁も得
られました。

尾張旭年金者の会
提出の2陳情が採択

尾張旭年金者の会か
ら3つの陳情が出され
ていました。このうち
2つが全員賛成により
採択されました。
採択されたのは「年
金2.5%の削減をや
めるよう国への意見書
提出を求める陳情書」、

「年金支給開始年齢の
引き上げをやめるよう
国への意見書提出を求
める陳情書」。

不採択となったのは、
上の表で2つめの陳情
第5号「すべての高齢
者に月額3.3万円の
年金を支給し、年金受
給資格期間を短縮する
よう国への意見書提出
を求める陳情書」です。
表の1番下にある、
意見書案第4号は、全
員賛成した陳情に対応
するもので、全員賛成
でなければ変ですが、
なぜか松本氏が反対。
議会事務局によると、
松本氏から間違えて挙
手しなかったので変更
したいとの申し出があっ
たそうですが、通りま
せん。



8月8日(水) 午後7時～ 市民会館にて
市議会全体で議会報告会が開催されます